



# トビウオ通信 漁況速報 (6月号)

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

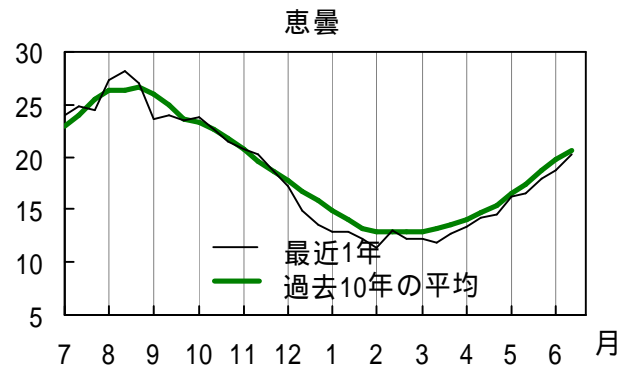
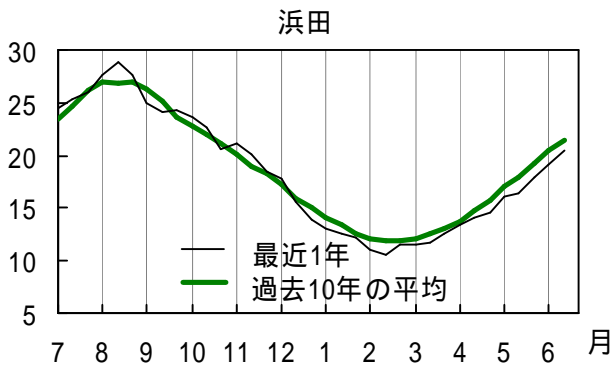
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《-6月の海況》

5月	月平均	平年差	評価
浜田	16.8	-1.3	かなり低め
恵曇	16.8	-0.9	やや低め

4月に引き続き5月もやや低めの水温が続き、浜田で平年より1.3、恵曇で平年より0.8低い水温となりました。6月に入っても水温はやや低めに推移しています。



## 《5月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田ではマアジを中心に漁獲量は平年並みとなりましたが、小型サイズの割合が高かったこと等から漁獲金額は平年の6割程度に留まりました。西郷、浦郷では前月に引き続きカタクチイワシを中心にまとまった漁獲が続き、漁獲量、漁獲金額とも平年を上回りました。

### 【イカ釣漁業】

前月と同様に低調に推移しました。浜田港(属地5トン以上)および西郷(属人5トン以上)では、スルメイカ中心の漁獲で、水揚げ数はそれぞれ平年の3割、1割以下に留まり、漁獲量は平年を大きく下回りました。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田港では総漁獲量、1ヶ統1航海あたり漁獲量ともに前年同月、および平年(過去10年平均)を上回りました。ムシガレイ、スルメイカ、ニギスが主に漁獲されました。スルメイカは前年の4割増、ムシガレイは2割減、ニギスは2倍増でした。そのほかの魚種ではアナゴ類が前年の6割増と平年並みの漁獲がありました。

### 【小型底びき網漁業】

大田、和江地区ではニギス、ソウハチが主に漁獲されました。1隻1航海あたり漁獲量では、大田地区では平年(過去5年平均)並み、和江地区では平年より1割減でした。その他の魚種ではヤナギムシガレイが前年の1.5~3倍漁獲されました。

### 【定量網漁業】

石見地区ではホソトビウオを中心に漁獲があり、漁獲量は平年の1.8倍と好調でした。出雲地区ではブリ・マアジ・サバ類が豊漁で漁獲量は平年の2倍と好調でした。隠岐地区ではブリが漁獲の半分以上を占め、ほぼ平年並の漁獲量でした。

### 【釣・縄】

石見地区ではブリ、メダイを中心に平年の8割程度の漁獲量でした。出雲地区ではブリを中心に平年の1.2倍の量でした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類を中心に平年並みの漁獲量でした。

【平成 18 年 5 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE (1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	584 トン	52	91	19 トン	98	169	
	西郷	カタクチイワシ、マアジ	4,530 トン	111	145	50 トン	142	160	
	浦郷	カタクチイワシ、マアジ	2,639 トン	113	151	38 トン	156	193	
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	12 トン	23	12	124 kg	48	41	
	西郷	スルメイカ	1 トン	2	2	256 kg	189	200	
沖合 底びき網	浜田	ムシガレイ、スルメイカ、ニギス	394 トン	135	114	13 トン	126	123	
小型 底びき網	大田市	ニギス、ソウハチ、スルメイカ、アンコウ	210 トン	91	104	672kg	93	99	
	和江	ニギス、ソウハチ、ムシガレイ、スルメイカ	262 トン	103	94	583kg	94	88	
定置網 (大型)	浜田	マアジ・ブリ類・ケンサキイカ	25 トン	114	71	593kg	136	97	
	美保関	ブリ・マアジ・サバ類	163 トン	215	219	1,631kg	212	290	
	浦郷	ブリ	40 トン	106	96	1,368kg	91	90	
釣り縄	仁摩	メダイ	17 トン	62	96	31kg	64	100	
	大社	ブリ	74 トン	205	198	68kg	169	207	
	西郷	カサゴ・カバル類、メダイ	8 トン	33	44	27kg	74	85	

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）： が平年以上、 が平年並み、 が平年以下